平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名　藤田エンジニアリング株式会社　　上場取引所　大
コード番号　1770　URL　http://www.fujita-eng.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤田　実
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員　(氏名) 泉山　吉郎　TEL 027-361-1111

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,097	△10.3	38	―	81	―	△102	―
23年3月期第3四半期	14,600	20.3	△191	―	△140	―	△109	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　△168百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△128百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△9.13	―
23年3月期第3四半期	△9.80	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,733	7,933	57.8
23年3月期	18,773	8,281	44.1

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　7,933百万円　23年3月期　8,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	8.00	―	8.00	16.00
24年3月期	―	8.00	―		
24年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	△1.7	460	8.2	520	7.0	310	6.9	27.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	11,700,000 株	23年3月期	11,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	502,800 株	23年3月期	502,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	11,197,200 株	23年3月期3Q	11,197,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの立て直しや工場の操業再開等持ち直しの兆しが見られたものの、電力供給の制約やタイの洪水等の影響からその動きは鈍化し、欧州の債務危機や円高などにより更に深まる先行きの不透明感を払拭できないまま推移致しました。

当社グループの主力事業の属する国内建設市場におきましては、公共設備投資については下げ止まりつつあるものの、民間設備投資については、海外経済減速を背景とした景気の下振れ懸念等から企業の設備投資に対する慎重な姿勢が強まり、極めて厳しい市場環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは当期首から３ヶ年の中期経営計画「Ｒａｓｈ－９０」をスタートさせ、全社を挙げて徹底的な意識改革を図り、新たな成長軌道の実現に向けて具体的な取組みを進めております。

当第３四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、前第３四半期連結累計期間より15億３百万円減少し130億97百万円（前年同四半期比10.3％の減少）、営業利益は38百万円（前年同四半期は営業損失１億91百万円）、経常利益は81百万円（前年同四半期は経常損失１億40百万円）、四半期純損失は１億２百万円（前年同四半期は四半期純損失１億９百万円）となりました。なお、第１四半期において、過去に退任した役員に対する子会社からの慰労金の支給による役員退職慰労金１億88百万円を計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建設事業

当社グループの主力事業である当事業におきましては、環境施設関連で大型工事の受注が増加したものの、製造工場やビル施設関連工事の受注が低調に推移したため、受注高は73億70百万円（前年同四半期比17.5％の減少）となりました。部門別では、産業設備工事が24億88百万円（前年同四半期比29.2％の減少）、ビル設備工事が21億88百万円（前年同四半期比33.9％の減少）、環境設備工事が26億93百万円（前年同四半期比27.6％の増加）となりました。

売上高は、大型工事の売上が減少したことにより61億71百万円（前年同四半期比20.8％の減少）となりました。部門別では、産業設備工事が22億99百万円（前年同四半期比2.9％の増加）、ビル設備工事が23億11百万円（前年同四半期比20.5％の減少）、環境設備工事が15億60百万円（前年同四半期比41.0％の減少）となりました。

なお、当事業は通常の営業形態として、第４四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、第４四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて高くなる季節的変動があります。

② 機器販売及び情報システム事業

当事業におきましては、情報システム関連はシステム開発や大口機器納入などが減少したものの、機器販売は空調機、照明などが増加したことにより、売上高は31億49百万円（前年同四半期比2.9％の増加）となりました。

③ 機器のメンテナンス事業

当事業におきましては、太陽光発電機器設置の受注は前年並みに推移しましたが、設備機器メンテナンスは工事関連の受注が堅調であり、売上高は34億75百万円（前年同四半期比5.4％の増加）となりました。

④ 電子部品製造事業

当事業におきましては、デジタル家電向け光デバイスなどの半導体関連部品の受注が減少したことにより、売上高は10億84百万円（前年同四半期比11.1％の減少）となりました。

⑤ その他

その他の事業の公共水道施設維持管理事業におきましては、運転管理受託体制や緊急対応体制を整備し、きめ細かな施設維持管理と顧客ニーズを捉えた提案活動を行った結果、売上高は１億95百万円（前年同四半期比7.7％の増加）となりました。

（注）１．上記売上高はセグメント間取引消去前の金額によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ50億39百万円減少し137億33百万円となりました。これは主に完成工事未収入金が26億７百万円、現金預金が21億22百万円、売掛金が５億77百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ46億92百万円減少し、57億99百万円となりました。これは主に支払手形が23億57百万円、工事未払金が16億65百万円、買掛金が５億16百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ３億47百万円減少し79億33百万円となりました。これは主に四半期純損失を１億２百万円計上し、配当の支払を１億79百万円行ったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において、平成23年５月13日に公表の数値から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,206,907	3,084,363
受取手形	647,567	576,438
完成工事未収入金	4,363,085	1,755,523
売掛金	2,524,711	1,947,593
有価証券	－	100,000
未成工事支出金	146,014	369,695
商品	109,552	120,685
仕掛品	337,319	467,551
材料貯蔵品	26,285	33,516
その他	350,258	358,524
貸倒引当金	△3,846	△1,127
流動資産合計	13,707,855	8,812,764
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,175,437	3,215,340
減価償却累計額	△1,926,282	△1,995,508
建物・構築物（純額）	1,249,154	1,219,832
土地	2,293,811	2,293,811
建設仮勘定	22,092	30,525
その他	636,701	653,668
減価償却累計額	△380,474	△433,737
その他（純額）	256,226	219,931
有形固定資産合計	3,821,285	3,764,101
無形固定資産		
のれん	208,689	186,329
その他	138,834	123,021
無形固定資産合計	347,523	309,351
投資その他の資産		
投資有価証券	528,851	430,765
その他	419,560	477,602
貸倒引当金	△51,678	△60,843
投資その他の資産合計	896,733	847,525
固定資産合計	5,065,542	4,920,977
資産合計	18,773,397	13,733,742

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,808,891	1,451,150
工事未払金	2,265,056	599,611
買掛金	1,359,941	843,760
短期借入金	804,996	804,996
未払法人税等	128,925	44,865
未成工事受入金	236,220	196,697
完成工事補償引当金	10,300	10,300
工事損失引当金	―	14,306
賞与引当金	167,587	82,188
役員賞与引当金	8,000	―
その他	515,718	570,690
流動負債合計	9,305,637	4,618,567
固定負債		
長期借入金	176,412	142,665
退職給付引当金	759,746	811,576
役員退職慰労引当金	98,250	103,950
その他	151,799	123,038
固定負債合計	1,186,207	1,181,229
負債合計	10,491,845	5,799,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,029,213	1,029,213
資本剰余金	805,932	805,932
利益剰余金	6,616,572	6,335,221
自己株式	△213,872	△213,872
株主資本合計	8,237,845	7,956,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,707	△22,549
その他の包括利益累計額合計	43,707	△22,549
純資産合計	8,281,552	7,933,944
負債純資産合計	18,773,397	13,733,742

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	14,600,396	13,097,066
売上原価	12,944,756	11,227,516
売上総利益	1,655,639	1,869,550
販売費及び一般管理費		
従業員給料手当	903,050	912,380
賞与引当金繰入額	24,182	25,020
退職給付引当金繰入額	24,040	25,493
役員退職慰労引当金繰入額	5,440	6,206
のれん償却額	22,359	22,359
その他	867,673	839,322
販売費及び一般管理費合計	1,846,746	1,830,783
営業利益又は営業損失（△）	△191,107	38,767
営業外収益		
受取利息	601	491
受取配当金	5,027	5,757
受取褒賞金	19,590	27,474
その他	35,229	35,380
営業外収益合計	60,449	69,103
営業外費用		
支払利息	9,082	8,087
貸倒引当金繰入額	－	12,744
その他	1,174	5,135
営業外費用合計	10,256	25,967
経常利益又は経常損失（△）	△140,914	81,903
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,998	－
特別利益合計	2,998	－
特別損失		
固定資産除却損	217	－
投資有価証券売却損	392	－
役員退職慰労金	－	188,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,258	－
特別損失合計	6,868	188,000
税金等調整前四半期純損失（△）	△144,784	△106,096
法人税、住民税及び事業税	84,420	69,765
法人税等調整額	△119,451	△73,666
法人税等合計	△35,030	△3,901
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△109,754	△102,195
四半期純損失（△）	△109,754	△102,195

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△109,754	△102,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,776	△66,256
その他の包括利益合計	△18,776	△66,256
四半期包括利益	△128,530	△168,452
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128,530	△168,452
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。